

◆ 2023 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：認定NPO法人 川口市民環境会議

26A-13

代表者：代表理事 浅羽 理恵

URL : <https://www.ne.jp/asahi/eco/ecolife>

1. 活動が必要とされた状況

①エコライフ DAY を市内全学校でデジタルにより実施し、その結果を環境教育の教材として、迅速に学校に提供する必要があります。

②コロナ感染症の5類移行に伴い、「子ども環境フォーラム 2023」を4年ぶりに対面式で開催する必要があります。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

(1) エコライフ DAY のデジタル化の推進

エコライフ DAY チェックシートのデジタル版プログラムを作成し、そのQRコード（1小学校ではメッセージ表）を配布しました。参加方法の周知を周知ポスターの校内掲示やYouTube 動画で行いました。6月のエコライフ DAY には63,279人の市民（川口市民の10.5%）が参加しました。その結果データを、学校別にグラフを使って分かりやすく整理し、10月初めに教育委員会の電子システムを使って各学校に提供しました。



参加方法の YouTube 動画

(2) 子ども環境フォーラム 2023 の開催

〈実施期間〉2023年11月25日（土）

〈発信場所〉川口市立戸塚南小学校

〈参加人員〉87名

〈活動内容〉第1部の環境活動発表では、戸塚南小あすばるエコクラブなど4団体から発表がありました。第2部では、子どもたちは8つのワークショップに分かれて、講師の指導のもと、自然素材のもの作りや自然観察などの体験を行いました。報告会では、自分の作った作品などを見せながら、参加して楽しかったことを報告し、振り返りと体験の共有を行いました。



環境フォーラムの様子

3. 活動の成果

①エコライフ DAY では、市民の環境配慮行動を通じて56.3トンのCO₂を削減することができました。その結果のきめ細かなデータは、学校別に整理し、各学校に提供しました。

②子ども環境フォーラムでは、4年ぶりの対面式での開催でしたが、87名の子どもたちや保護者に参加していただき、95%の方から「良かった」との評価をいただきました。

4. 今後に残された課題

①エコライフ DAY では、デジタルでの参加方法の周知を図り、参加者の拡大を図っていきます。その結果データは、環境学習教材として学校に提供します。

②子ども環境フォーラムでは、市内小学校の協力を得て、子どもたちが自然観察などを直接体験できるように努めていきます。